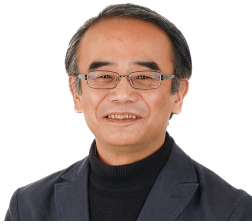


運動印象に関する知覚的検討



曾我 重司 教授

人間社会学部 心理学科 基礎心理学研究室

URL: <https://dep.sit.ac.jp/sinri/staff/soga/>

キーワード

知覚心理学、交通心理学、ユニバーサルデザイン、アニメーションの動き

■ 主な研究シーズ

- 自動車などの運転時の知覚に関わる問題
- 視覚的ユニバーサルデザイン
- アニメーションの動き

■ 研究シーズ概要

● 自動車などの運転時の知覚に関わる問題

運転時の注意の問題として、携帯電話での通話などがどの程度、運転時の反応時間を遅らせるか、また見落としを誘発するかなどについて。

● 視覚的ユニバーサルデザイン

CUD(Color Universal Design)などの、視覚的特性に基づいたデザインについて。

● アニメーションの動き

アニメーション制作における、いわゆる「おぼけ」と呼ばれる技法(動画のコマとコマの間に、全く別の形態の画像のコマを入れることによって、全体としての動きの軌跡・運動印象が異なる現象)について、動きの印象、速さ、などについて実験的に検討を行っている。

■ 業界の相談に対応できる分野

自動車運転時の知覚的研究

■ 特記事項



大塚 聡子 教授

人間社会学部 心理学科 基礎心理学研究室

URL: <https://dep.sit.ac.jp/sinri/staff/ohtsuka/>

キーワード

3次元(立体)知覚、高齢者、視線、認知、注意、感性

■主な研究シーズ

- 3次元空間の知覚特性
- 高齢者の認知特性
- 注意機能と視線運動

■研究シーズ概要

●3次元(立体)空間の知覚特性

人間は3次元的な空間を見ることができますが、視覚の出発点である網膜は2次元です。網膜像をもとに空間を見るしくみや、知覚空間に対する感性評価に基づき、人にとって見やすい3次元(立体)空間について調べています。

●高齢者の認知特性

一般に、加齢とともに、認知課題の遂行には時間がかかるようになります。一方で、課題によっては高齢者が若年者と同等あるいはそれ以上の成績を示す場合もあります。また、若年者と高齢者の間で課題成績が質的に異なる場合もあります。このような、認知特性における加齢効果を調べています。

●注意機能と視線の運動

人は、視野の中に存在する多くの対象の中で、どのような対象のどのような属性に注意を向けやすいか、心理学実験や視線運動の計測を通して調べています。

■業界の相談に対応できる分野

人間の注意機能、高齢者の知覚・認知特性、官能評価、錯視・錯覚

■特記事項

現代におけるこころ、現実の多層性ところ



田中 崇恵 講師

人間社会学部 心理学科 臨床心理学研究室

URL: <https://dep.sit.ac.jp/sinri/staff/tanaka/>

キーワード

現代におけるこころ、オンラインカウンセリング、心理臨床における変容、学生相談、青年期

■ 主な研究シーズ

- 現代における意識・心のありように関する研究
- 心理臨床過程における「変容」について、“異”なるものと心理臨床
- 青年期の心理臨床的課題や学生相談に関する研究

■ 研究シーズ概要

- 現代における意識・心のありように関する研究

現代という時代における人間の意識やこころのありようについて関心を持っている。特にサイバー空間から無意識にわたる人が生きる現実の多層性に着目して研究を行う。現在は、対面カウンセリングとオンライン動画カウンセリングにおいて、どのような違いがあるのかについて実験的な手法で研究を進めている。

- 心理臨床過程における「変容」について

心理臨床の過程における変容の契機やそれをいかにして捉えるのかという観点から主に事例研究を通して検討している。

- 青年期の心理臨床的課題や学生相談に関する研究

青年期に特有の心理的課題や心性に関心がある。その中でも、学生相談のシステムの再考や効果的な支援がいかにして展開できるかということについても研究を進めている。

■ 業界の相談に対応できる分野

心理療法、オンラインカウンセリング

■ 特記事項

心理臨床的見地に基づく心の健康とパーソナリティ理解に関する研究



滝澤 毅矢講師

人間社会学部 心理学科 臨床心理学研究室

キーワード

臨床心理学、認知症、心理アセスメント、精神医学

■主な研究シーズ

- 認知症のある方と家族及び介護等専門職への心理的支援に関する研究
- 心理検査を用いた心理状態及び精神症状に関する研究
- 精神疾患並びに自殺関連行動及び自殺予防に関する研究 など

■研究シーズ概要

● 認知症のある方と家族及び介護等専門職への心理的支援に関する研究

本研究は臨床心理学側面と精神医学的側面より、認知症のある方だけに限らず認知症のある方に関わる介護者に関わる研究テーマである。現在、我が国は超高齢社会に突入しており、今後も人口における高齢者の比率は上昇傾向にあると推測されている。また、認知症の危険因子に加齢が挙げられており、今後も認知症の罹患者は増加することが予想される。認知症のある方のウェルビーイングに関する研究もさることながら、本研究テーマでは認知症のある方の日々を支える関係者のメンタルヘルス向上に寄与する支援方法も検証していく。

● 心理検査を用いた心理状態及び精神症状に関する研究

様々な心理検査のうち、特に投射法を用いた人の心理状態及び精神症状並びに精神疾患に関する理解を深める研究テーマである。人間の心理的特徴を客観的に捉え、端的に説明することは難しい。心理検査はそのような複雑な心理的特徴を外在化し、客観的に操作可能なものへと変換することができる。本研究テーマでは人間の様々な心理的特徴を、心理検査を用いて明らかにすることで、治療や支援そして教育の一助となる情報を社会に提供することを目的とする。

● 精神疾患並びに自殺関連行動及び自殺予防に関する研究

本邦は他の先進国と比較して自殺関連行動が多いことが明らかとなっている。また、成人期以降の年間自殺者数は高止まりの状態にあると近年報告されているが、思春期や青年期の自殺者数は変わらず増加の一途を辿っている。これには個人の心理的問題や身体的状況に限らず、経済状況や社会状況など様々な要因が複雑に関連している。本研究テーマでは、自殺関連行動に関する要因を明らかにするとともに、自殺関連行動予防の一助となるよう様々な要因を検証していく。

■業界の相談に対応できる分野

■特記事項